

大人が児童文学を楽しむ朗読会

朗読 伊藤 博敏 (いとう ひろとし)

プログラム

1. 「ふるやのもり」 おざわとしお：再話 赤羽末吉：画
福音館書店 「日本の昔話」5巻シリーズの「第1巻 はなさかじい」より
あらすじ



ある雨の晩、おじいさんとおばあさんが「この世でいちばんおっかないものは何か?」「それは、ふるやのもりだ」と話している。「ふるやのもり」とは、古い家の雨漏りのことだ。そこに山のオオカミと子馬どろぼうがからんで、物語が走り出す。

小澤 俊夫 (おざわ としお) 世界的な昔話研究者。筑波大学名誉教授。昔話を全国に広めようと「昔ばなし大学」(再話研究会など)を93歳のいまも全国で展開している。指揮者・小澤征爾氏の実兄。

2. 「注文の多い料理店」 作：宮沢賢治
賢治が生前に刊行した唯一の童話集『注文の多い料理店』(全9話)の代表作
あらすじ

都会から猟に来た若い紳士2人が、山で道に迷う。腹をすかせた二人は西洋造りの料理店を見つけ入る。廊下を行くと、次々と戸があり、そのたびに二人への注文が書いてあった。

宮沢 賢治 (みやざわ けんじ) 1896 (明治 29) 年～1933 (昭和 8) 年。岩手県花巻市生まれ。盛岡高等農林学校卒。農学校で教員として教える。羅須地人協会を作り、農民の生活向上の活動を実践する。病により37歳で死去。童話作家。詩人。

3. 「あるはれたひに」 作：木村裕一 絵：あべ 弘士
木村の代表作『あらしのよるに』シリーズ全7巻中の第2巻 講談社
あらすじ

第1話で、嵐の夜に、真っ暗闇の小屋で知り合い、意気投合した2匹の動物。第2話では、約束したとおり、翌日の屋に再び会う。姿かたちがわかったヤギとオオカミが、一緒にお弁当を食べようと山をのぼって行く。しかし、アクシデントが起きて・・・。

木村 裕一 (きむら ゆういち) 1948年、東京都生まれ。多摩美術大学卒。造形教室・幼児番組のアイデアブレンなどを経て、絵本・童話作家に。

伊藤 博敏 プロフィール 朗読家。紙芝居実演家。上田自由塾の「おはなしの世界」講座の講師。信濃町・黒姫童話館の「黒姫朗読教室」の講師。ボランティア団体「おはなしじゃんけんぼん」代表。上田市在住。諏訪市出身。東北大学卒。NBS長野放送でアナウンサー、記者、ディレクター。退職後、日本語講師、読書アドバイザー、絵本講師などの資格を取得。現在、朗読・紙芝居・昔話・腹話術を中心に活動し、研さんに務めている。朗読では「聴き手に楽しんでもらえる朗読」を心がけている。



2023.12月9日(土) 受付 18:15 開演 18:45
上田駅前ビルパレオ 4F 上田情報ライブラリー ことばの繭ホール

申込：11月20日(月)～上田情報ライブラリーにて受付 電話 29-0210 (休館日 火曜日、11/24、12/1)
入場料：1200円 前売り 1000円 倶楽部会員 800円 高校生以下無料 (要予約)
定員：60名 お問合せ：上田図書館倶楽部事務局 電話 25-3115

市営上田駅お城口第二駐車場が最寄りの駐車場です。混雑する場合がありますのでお早めにお出かけください。黄色い駐車券をお持ちください。

